

第2期 山元町教育振興基本計画

アンケート調査結果の分析・考察

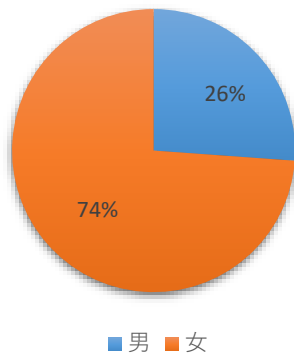
山元町教育委員会

回答者について

○ 1409 人にアンケートを配付し 1312 人から回答を得た(内訳については下記の表を参照)。回収率は 93%と非常に高かった。幼稚園、保育所、小・中学校を通し配付・回収をしたことが一つの要因である。また、山元町の住民の教育に対する関心の高さがうかがえる結果であった。

幼稚園 保育所 保護者	幼稚園 保育所 職員	小学校 保護者	小学校 職員	中学校 保護者	中学校 職員	生涯学習 関係団体	地域 住民	合計
167	53	293	66	201	15	372	145	1312

性別



<前提条件について>

○ Q1～Q11 については、3つまでの選択であるために、回答数は設問ごとに違っている。

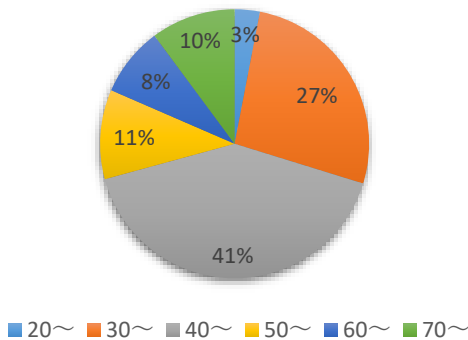
<性別について>

○ 回答者は 74%が女性であった。幼稚園、保育所、小・中学校を通してアンケートを配付したため、母親が回答するケースが多かったことが要因であると考えられる。

<年齢について>

○ 30・40 才代を合わせると 894 名になり、回答者全体の 68%が子育て世代である。また、20 代から 70 代まで、まんべんなく回答を得ることができた。

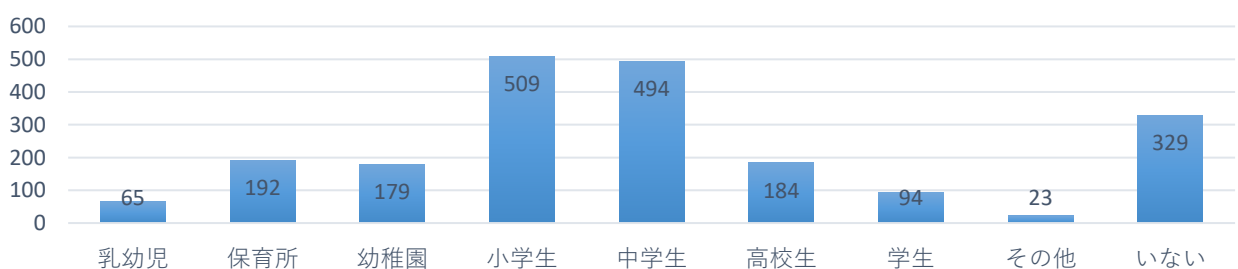
年齢



<就職前の子供の有無>

○ 就職前の子供の有無を聞いた設問に対して小・中学生という回答が多くみられた。
○ 1家庭に複数のアンケート調査が配付された場合は父母が別々に回答し複数提出されている可能性がある。また、教職員も回答しているため、町内の児童生徒数より多くなっている。

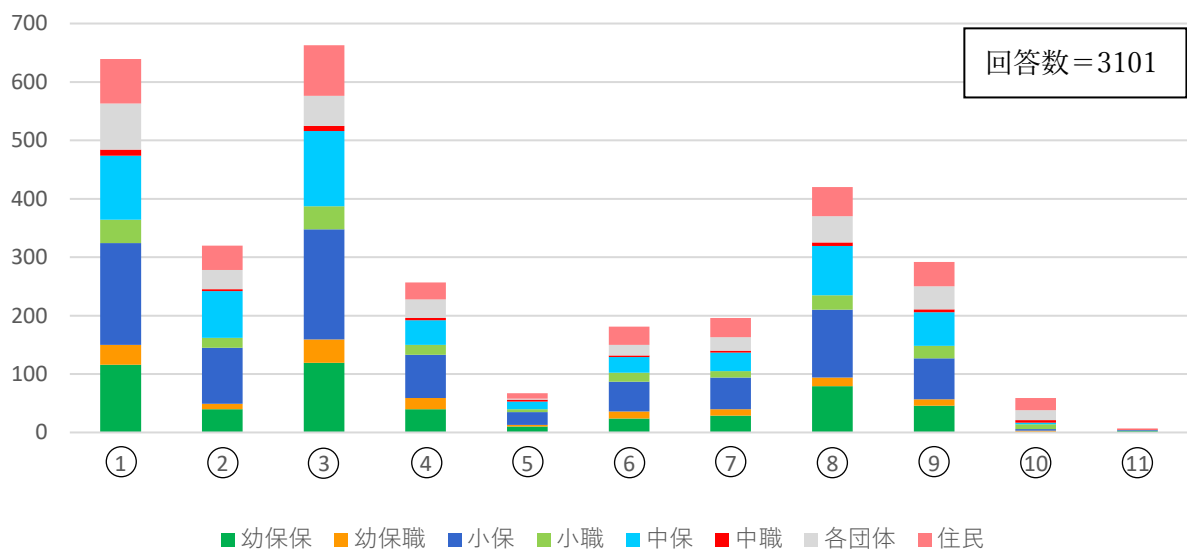
就職前の子供の有無



Q1 山元町の子供たち(お子さんがいる場合は自分のお子さん)は、どのような子供に育ってほしいと思いますか？ 3つまで選んで回答用紙にご記入ください。

- ①心身ともに健やかな子供
- ②夢や目標(志)の実現に向け努力する子供
- ③思いやりの心を持つ子供
- ④自他の命を大切にする子供
- ⑤個性を大切にする子供
- ⑥決まりやルールを守ろうとする子供
- ⑦礼儀正しい子供
- ⑧自ら考え行動する子供
- ⑨これからの社会をたくましく生き抜いていく子供
- ⑩ふるさと山元に誇りを持ち、郷土のために働く子供
- ⑪その他()

どのような子供に育ってほしいか



○ 「③思いやりの心を持つ子供」「①心身ともに健やかな子供」の2つが群を抜いて高かった。知育・徳育・体育についてバランス良く成長してほしいという願いが表れた結果であると考えられる。

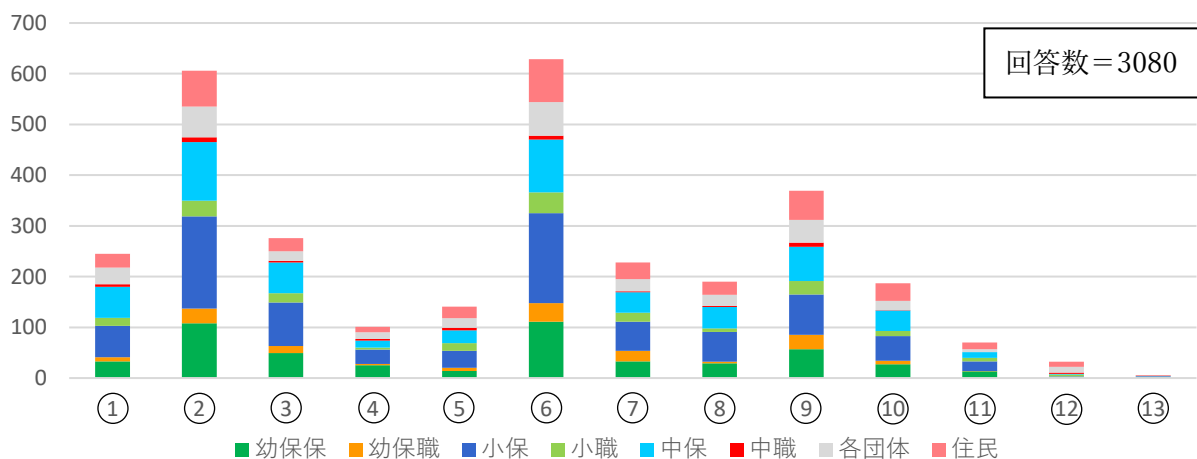
○ 特に「③思いやりの心を持つ子供」が一番多かったことは、心の成長(徳育)を第一に考えている方が多いと言うことの表れである。

○ 3番目に多いのが「⑧自ら考え行動する子供」である。変化の激しいこれからの世の中を生き抜いていくためには、自分の考えをしっかりと持ちつつも自ら行動していくことが求められていると考えている方が多いことが分かった。また、このことは、「みのりプロジェクト」などでも山元町の子どもたちの大きな課題として取り上げられている。

Q2 Q1で選択したような子供に育つために、どのような力を身に付けてほしいと思いますか？ 3つまで選んで回答用紙にご記入ください。

- ①基礎的・基本的な知識や技能を身に付けてほしい
- ②自ら考え、判断し、表現する力を身に付けてほしい
- ③自ら学ぶ意欲を持ってほしい
- ④健やかな身体や高い運動能力を身に付けてほしい
- ⑤規則正しい生活習慣を身に付けてほしい
- ⑥思いやりや優しい心など豊かな人間性を身に付けてほしい
- ⑦常識やマナー・決まりやルールを身に付けてほしい
- ⑧ものごとを計画的に粘り強くやり遂げる力を身に付けてほしい
- ⑨人と協調しよりよい人間関係を築いていける社会性を身に付けてほしい
- ⑩自立心や自主性を身に付けてほしい
- ⑪防災に関する知識や命を大切に作る心をもってほしい
- ⑫郷土を愛する心を持ってほしい
- ⑬その他 ()

どのような力を身に付けてほしいか

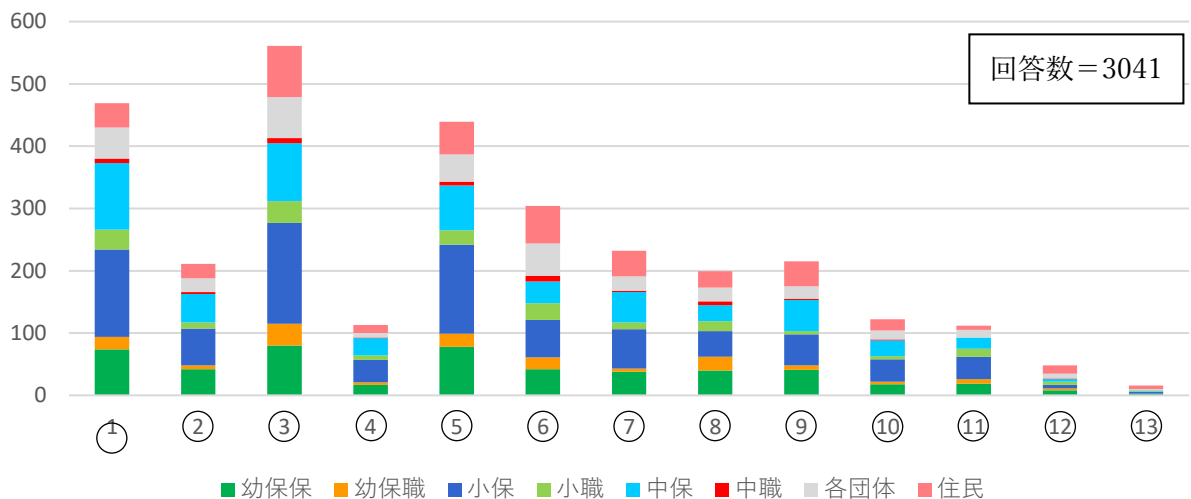


- 「⑥思いやりや優しい心など豊かな人間性を身に付けてほしい」「②自ら考え、判断、表現する力を身に付けてほしい」の2つが群を抜いて多かった。
- Q1の結果を反映しおり、徳育に関する「豊かな人間性」が1番多く選ばれた。2番目に多かったのは、知育に関する「②自ら考え、判断、表現する力を身に付けてほしい」である。新学習指導要領の中で最も重視されている「主体的・対話的な深い学び」のベースになる力である。
- いじめ、不登校、引きこもり等、大きな社会問題となっている。これらは、人間関係の希薄さが大きな要因になっている。これからの高度情報化社会においては、さらに拍車がかかることが考えられる。だからこそ「よりよい人間関係を築いていける社会性を身に付けること」が大切になってくる。また、新学習指導要領の中でも、「子供同士の協働、教職員や地域の人との対話により自己の考えを広げ深める対話的な学び」が述べられている。その実現のためにも「よりよい人間関係を築いていける豊かな社会性」は重要である。

Q3 Q1・Q2 のような子供の育成に向けて、学校や教育委員会が、重点的に取り組むべき内容はどのようなことだと思いますか？3つまで選んで回答用紙にご記入ください。

- ①学習意欲を高め学力を伸ばすこと
- ②運動能力や体力を向上させること
- ③決まりやルールを守ろうとする意識や豊かな心を養うこと
- ④職業観や勤労意識を育むこと
- ⑤いじめや不登校のない学校づくりをすすめること
- ⑥学校・家庭・地域がいっしょに学校づくりをすすめること
- ⑦体験活動や行事など学校ごとに特色ある教育をすすめること
- ⑧小・中学校、幼稚園、保育所がともに協力して教育をすすめること
- ⑨情報化や国際化に向けた取組
- ⑩防災・防犯などの安全対策
- ⑪学校施設・設備の充実
- ⑫特別支援教育の充実・推進
- ⑬その他 ()

重点的に取り組むべき内容



○ Q3においてもQ1・2同様、徳育、知育が重視され、一番目が「③決まりやルールを守ろうとする意識や豊かな心を養うこと」2番目が「①学習意欲を高め学力を伸ばすこと」という結果になった。地域住民の意識は、一貫して「豊かな心」と、これからの社会を生き抜いていくための「学力」が必要であることを支持している。

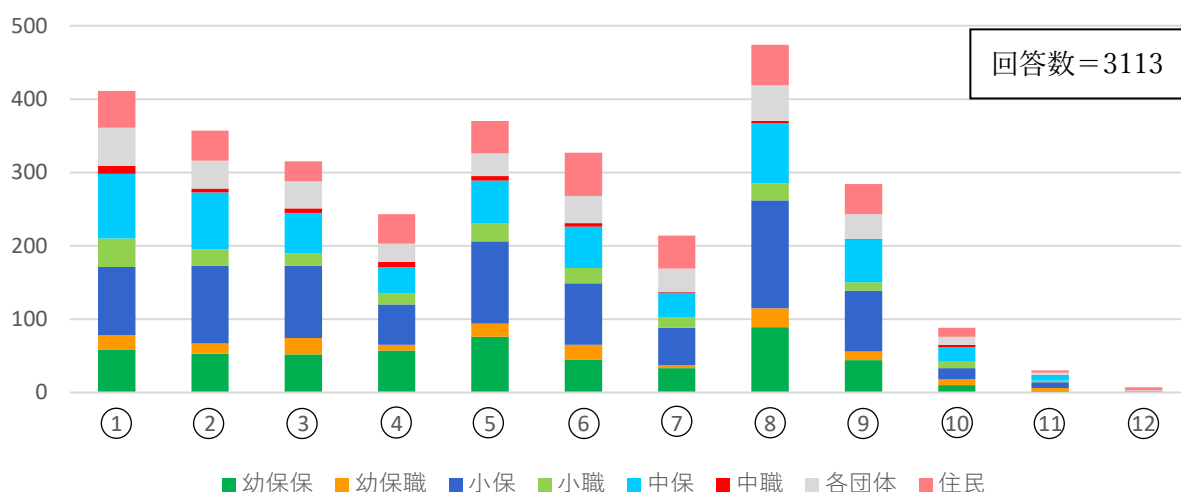
○ 3番目には「⑤いじめや不登校のない学校づくりをすすめること」があげられた。Q2の考察でも述べたように、「いじめや不登校のない学校づくり」を推進するためには、子供たちの心の醸成が欠かせない。「きまりやルールを守ろうとする規範意識」に加え、「よりよい人間関係を築くための豊かな社会性」を身に付けられるような取組が求められる。

○ また、4番目として「⑥学校・家庭・地域がいっしょに学校づくりをすすめること」があげられた。このことについても、新学習指導要領の中で「学校教育を学校内で閉じずに、その目指すところを社会と共有・連携しながら実現させること」と述べられている。山元町では、今年度から「コミュニティ・スクール」を導入し学校と社会が一体となって課題に当たる仕組みを構築してきている。ますます、取組を加速させる必要がある。この⑥については地域住民からの意見が多かった。

Q4 Q1で選択したような子供に育つために、幼児期の教育において大切にすべきことはどのようなことだと思いますか？ 3つまで選んで回答用紙にご記入ください。

- ①規則正しい生活リズムを身に付けること
- ②身の回りのことを自分でできるようにすること
- ③自分の命を大切に、安全に気をつけて行動すること
- ④試したり、工夫したりして遊びを楽しむこと
- ⑤友だちや身近な人と親しみ、関わること
- ⑥きまりや約束を守ることの大切さを知ること
- ⑦身近な環境や自然などさまざまなことに興味や関心を持つこと
- ⑧自分の気持ちを言葉で伝え、相手の気持ちに気付くこと
- ⑨感じたこと、考えたことを自分なりに表現すること
- ⑩子育てや家庭教育を支援すること
- ⑪小学校へスムーズに移行するために小学校との連携を推進すること
- ⑫その他 ()

幼児期の教育で大切にすべきこと



○ これまでの結果とは異なり、①～⑨の選択肢がどれもまんべんなく選ばれる結果となった。幼児期の教育にとってどれも大切だと感じていることの表れだと思われる。

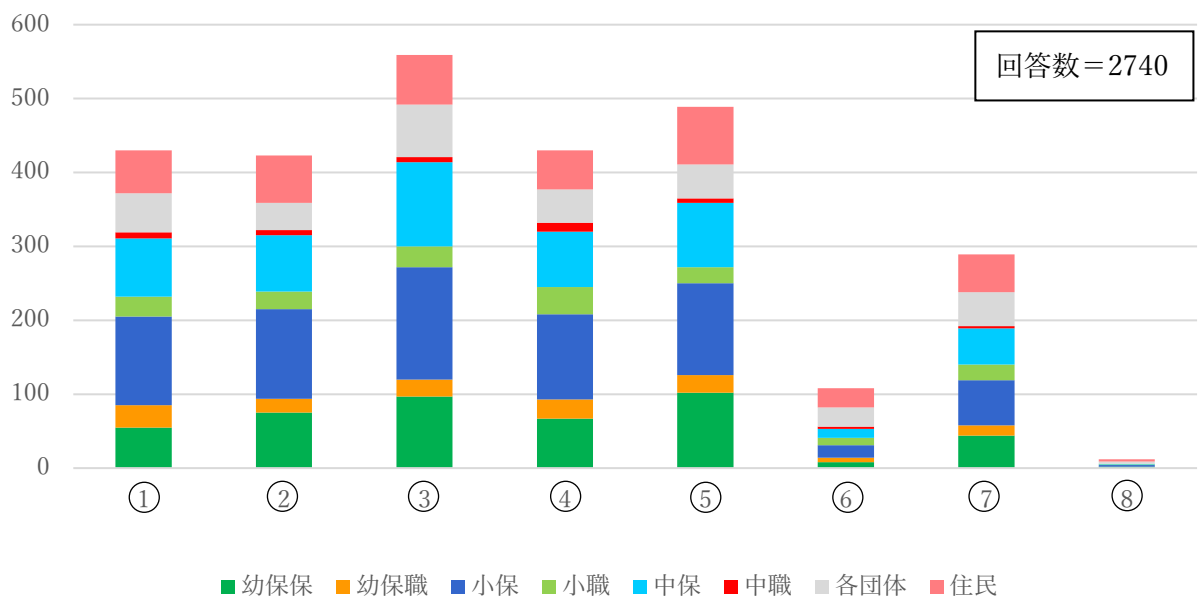
○ 中でも1番多かったのが「⑧自分の気持ちを言葉で伝え、相手の気持ちに気付くこと」である。特に、幼稚園、保育所、小学校の保護者に多く見られた。園や所、学校生活の中で友達との関係をよりよいものにし、楽しく生活する上で、相手の気持ちが分かること、自分の思いを人に伝えることが、最も大切だと感じていることが分かった。このことは、小・中学校のいじめ・不登校とも関わることで、幼児期にぜひ身に付けてさせたい力である。

○ 2番目に多かったのは「①規則正しい生活リズムを身に付けること」である。知育・徳育・体育バランス良く成長する上でのベースとなるものである。「規則正しい生活リズム」を整えるためには家庭の教育力が大切であり、家庭、幼稚園・保育所(学校)、地域の連携や幼稚園・保育所・小学校の連携が大切になる。

Q6 生きがいづくりに繋がる生涯学習・文化学術の推進等について、特に重要だと思うものを3つまで選んで回答用紙にご記入ください。

- ① 町民が主体的に取り組む学習活動
- ② 町が参加を呼びかけ主催する学習活動
- ③ 学習活動を還元できる機会や環境
- ④ 家庭・地域における教育力
- ⑤ イベントや教室の情報提供
- ⑥ 「大條家ゆかりの茶室」など町指定文化財の保存・活用
- ⑦ 伝統・伝承
- ⑧ その他（ ）

生涯学習・文化学術の推進について重要なこと

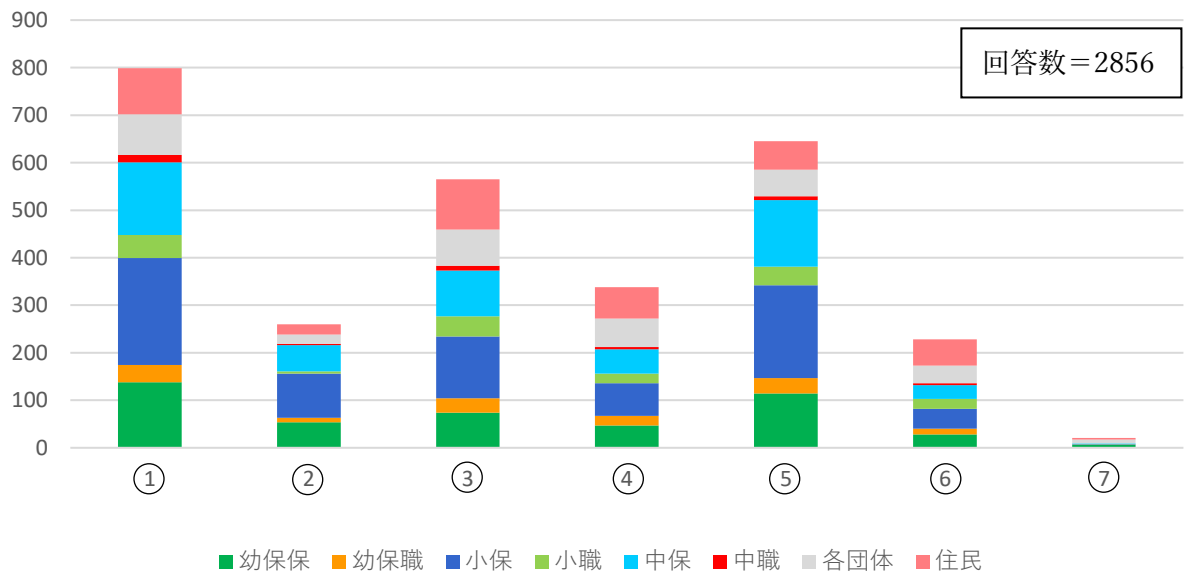


- 1番目に多かったのは、「③学習成果を還元できる機会や環境」であった。生涯学習に取り組む、身に付けたことを、誰かのために生かしたり、発表したりする環境や企画を望んでいることが表れた結果となった。
- 2番目に多かったのは、「⑤イベントや教室の情報提供」であった。「②町が参加を呼びかけ主催する学習活動」にも多くの回答が寄せられたことを踏まえると、今後様々なイベントの情報提供のあり方を工夫することによって、生涯学習活動の伸びしろがさらに広がることが期待される。

Q7 健康の保持・増進や健康寿命の延伸などが期待できる生涯スポーツ(レクリエーションを含む)活動の充実に向けて、重要だと思うものを3つまで選んで回答用紙にご記入ください。

- ① スポーツを行う機会や環境
- ② 競技力向上を目指したスポーツ教室や講座
- ③ 健康づくりに重点を置いたスポーツ教室や講座
- ④ スポーツを通じた世代間交流
- ⑤ スポーツ施設や器具の充実
- ⑥ 障害のある人がスポーツに参加できる機会や環境
- ⑦ その他 ()

生涯スポーツの活動の充実に向けて重要なこと



○ 1番目に多かったのは、「①スポーツを行う機会や環境」であった。新型コロナウイルス感染防止のため、活動や移動の自粛等が長期にわたり求められていることなど一つの要因と考えられる。

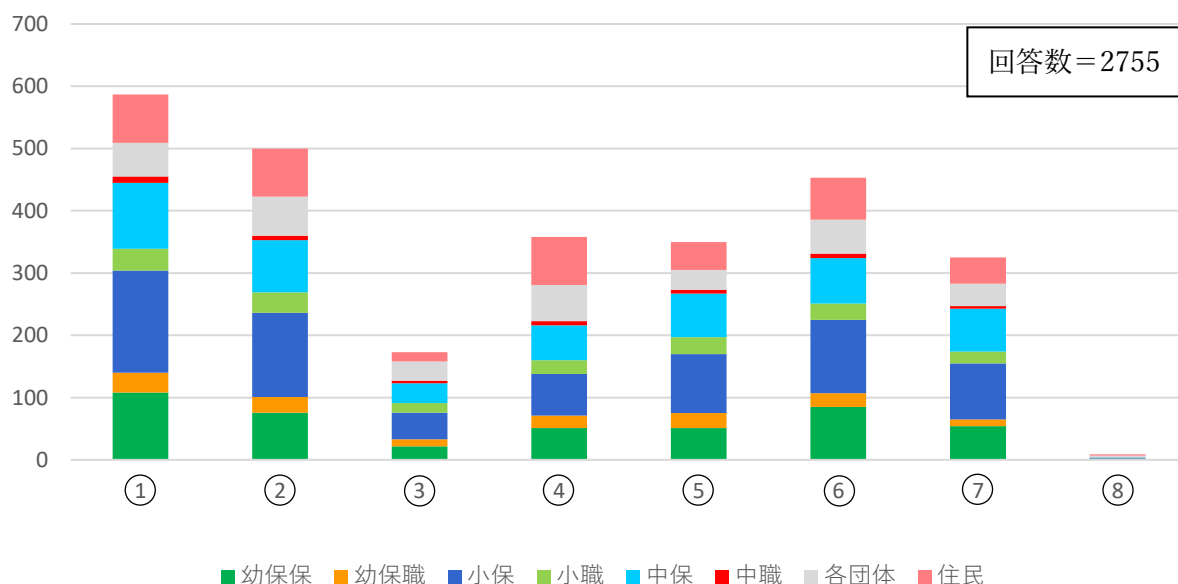
○ 2番目に多かったのは、「⑤スポーツ施設や器具の充実」であった。自由記述でも複数から回答があったが、2月13日発生地震の被害により屋内運動場が利用できない状態が続いていることが理由として考えられる。「③健康づくりに重点を置いたスポーツ教室や講座」にも関連するが、運動不足による健康への二次被害を防ぐためにも、一日でも早いスポーツ環境の回復が望まれる。

○ 「⑥障害のある人がスポーツに参加できる機会や環境」にも一定の回答が寄せられた。今年の東京オリンピック・パラリンピック開催なども一つの理由と考えられるが、より良い共生社会の実現を目指すための仕組みづくりを住民が求めていると捉えることもできるのではないかと。

Q8 あなたが、地域と学校が今まで以上に協力・連携し子どもを育成していくために、重要だと思うものを3つまで選んで回答用紙にご記入ください。

- ① 地域と学校が協力・連携して行う活動の雰囲気づくり
- ② 地域と学校が一緒に行う活動
- ③ 多くのボランティアによる登録や参加
- ④ 世代間交流を伴う活動
- ⑤ 地域の理解に繋がる活動
- ⑥ 地域と学校が協力・連携して行う活動にかかわる情報発信
- ⑦ 企業・大学・NPO 法人との連携
- ⑧ その他 ()

地域・学校の協力・連携に重要なこと



○ 「①地域と学校が協力・連携して行う活動の雰囲気づくり」「②地域と学校が一緒に行う活動」「⑥地域と学校が協力・連携して行う活動にかかわる情報発信」の回答が多かった。

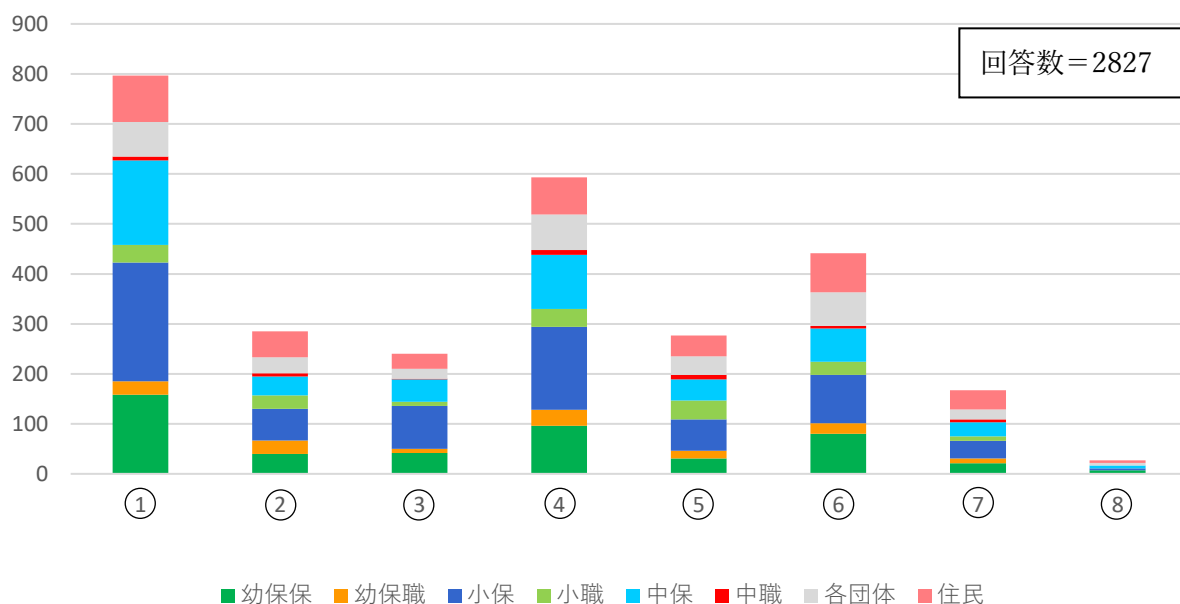
これらは、実際に地域と学校が関わっていく中で、より協力・連携を強めていくこと、そして、今まで以上に多くの人にその取組を知ってもらい、さらに多くの人に関わってもらうことが、健やかな子どもの育成につながると考えている人が多くいることを示している。

○ 特に、「①地域と学校が協力・連携して行う活動の雰囲気づくり」については、「子育て世代の保護者」「幼稚園・保育所・小中学校職員」からの回答の割合が高かった。地域と学校が協力・連携(協働)していくことの重要性を感じている人が、そのような雰囲気づくりへのより一層の工夫を望んでいることがうかがえる。

Q9 あなたは、家庭教育の充実のために、山元町はどのような支援をすべきと考えますか。特に重要だと思うものを3つまで選んで回答用紙にご記入ください。

- ① 子育てに伴う経済的な負担軽減
- ② 悩みごとの相談
- ③ 有害な情報から子どもを守ること
- ④ 子どもの居場所づくり
- ⑤ 家庭教育に関する啓発や啓蒙
- ⑥ イベントなど、親子で触れ合う機会
- ⑦ 研修や講座、講演会など
- ⑧ その他 ()

家庭教育の充実のために、支援すべきこと



○ 1番目に多かったのは、「①子育てに伴う経済的な負担軽減」であり、30%近くにのぼった。「子育てするなら山元町」というキャッチフレーズに見合っていないという意見が「子育て世代の保護者」などから多く寄せられており、記述回答でも、目に見える形での負担軽減策を求める声が目立った。

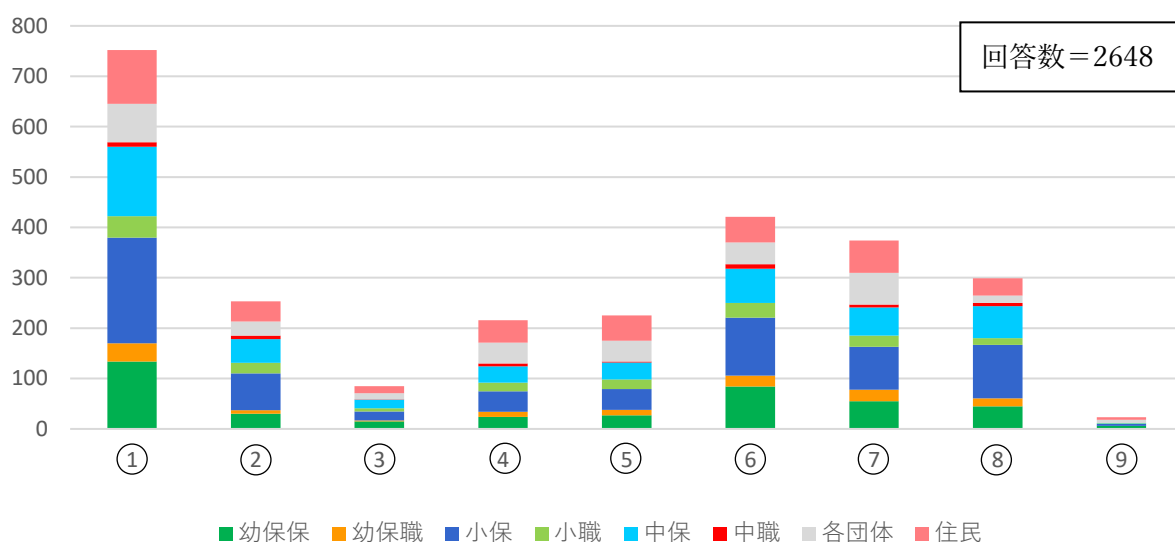
○ 「④子どもの居場所づくり」は「子育て世代の保護者」「幼稚園・保育所・小中学校職員」などから多く挙げられていた。Q5 で挙げられたように施設設備の充実に加えて、放課後に安全に過ごせる環境の整備も求められている。

○ 「⑥イベントなど、親子で触れ合う機会」が必要だという声は、「幼稚園・保育所の保護者」などから特に多かった。幼い時に親子で触れあうことは大事だと捉えつつも、そういった機会が十分だと感じていない保護者が多くいる結果となった。

Q10 あなたが、もし町の歴史や文化について学ぶとしたら、どのような事を知りたいですか。3つまで選んで回答用紙にご記入ください。

- ① 過去の自然災害（津波など）
- ② 合戦原遺跡の線刻壁画
- ③ 熊の作遺跡（巨理郡の古代郡衙推定地）
- ④ 大條家ゆかりの遺構（茶室、蓑首城跡、大手門、御廟など）
- ⑤ 志賀潔などの偉人や功績者
- ⑥ 町内の神社に伝わる神楽などの伝統芸能
- ⑦ 町内の民俗（身近な昔の暮らし、民間信仰など）
- ⑧ 町内の学校の歴史
- ⑨ その他（

町の歴史・文化について知りたいこと



○ 1番目に多かったのは、「①過去の自然災害(津波など)」で、突出した結果となった。東日本大震災を経験していることがその要因と考えられるが、地層の調査や、石碑などから過去に起きた災害について分析し、今後起きる自然災害予測や減災へ生かしていこうという防災への関心の高さがより鮮明となった。

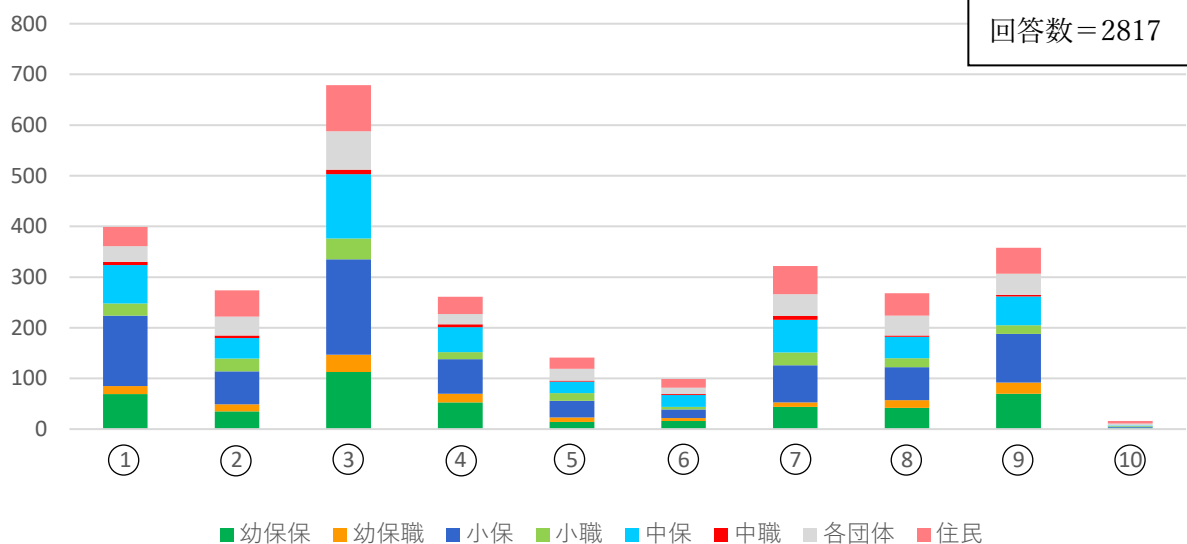
○ 2番目に多かったのは「⑥町内の神社に伝わる神楽などの伝統芸能」、「⑦町内の民俗(身近な昔の暮らし、民間信仰など)」であった。「地域住民」「各種団体」のほか、「子育て世代の保護者」などからも知りたいこととして取り上げられたことなどから、地域に根ざした伝統芸能や民俗的な民間伝承などに興味をもっている人々が、様々な年代にわたって一定数いることがうかがえる結果となった。

○ その他の記述として、「地名とその歴史」、「地区の重要な場所・成り立ち」など、自分の住んでいる地域についてより理解を深めたいという複数の要望も寄せられた。

Q11 震災遺構中浜小学校の活用を踏まえて、今後、震災の記憶を風化させず、震災伝承活動を続け、防災教育を推進するため、特に有効だと思われる取組を3つまで選んで回答用紙にご記入ください。

- ① インターネットを通じた遠隔学習の充実
- ② 語り部活動を育成するプログラムの整備
- ③ 危険予測、避難時間予測など体験型学習の強化
- ④ SNSによる情報発信の充実
- ⑤ 旅行会社等によるツアーの商品化
- ⑥ インバウンドを意識した多言語対応の拡充
- ⑦ 他の震災伝承施設との連携
- ⑧ 報道機関（新聞・テレビ等）の活用による宣伝
- ⑨ 3.11 防災イベントの開催
- ⑩ その他（)

震災伝承・防災教育推進のための有効な取組

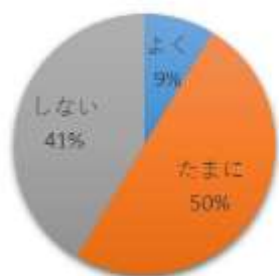


- 1番目に多かったのは、「③危険予測、避難時間予測など体験型学習の強化」であり、割合にすると約25%であった。実際の災害発生時に、自分の身を守る適切な行動を取ることができるようになってほしいという願いから、そのような取組を望む結果となったことが推察される。
- 2番目に多かったのは、「①インターネットを通じた遠隔学習の充実」であった。実際に訪れることが難しい人々に対しても、多様な形態で震災伝承活動を行う必要性を感じている人が多いという結果となった。
- 「④SNSによる情報発信の充実」「⑤旅行会社等によるツアーの商品化」「⑥インバウンドを意識した多言語対応の拡充」を挙げる人も少なくなく、より多くの人へ伝承していくことの必要性が重要視されている表れでもある。今後の震災遺構のあり方を検討する上で参考になる貴重なデータである。

Q12 この1年の間、下記に示す社会教育施設等を利用したことがありますか。また、施設や事業などの情報を知りたいときに何から入手しますか。それぞれ、当てはまる番号に○をつけてください。

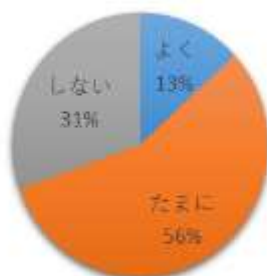
施設の利用状況

中央公民館



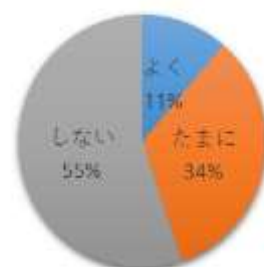
■よく ■たまに ■しない

ひだまりホール



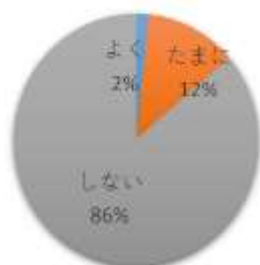
■よく ■たまに ■しない

おもだか館



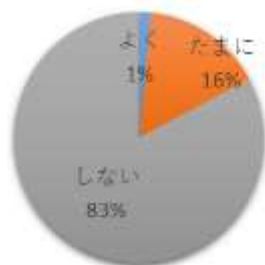
■よく ■たまに ■しない

ふるさと伝承館



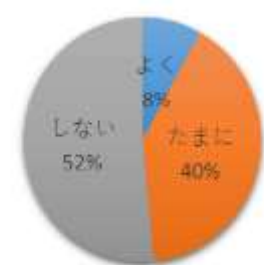
■よく ■たまに ■しない

歴史民俗資料館



■よく ■たまに ■しない

深山山麓少年の森



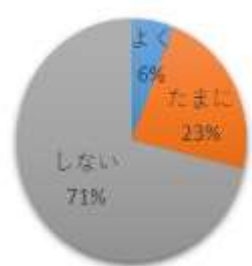
■よく ■たまに ■しない

子どもセンター



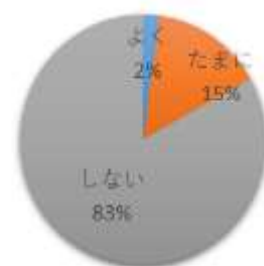
■よく ■たまに ■しない

体育文化センター



■よく ■たまに ■しない

町民グラウンド

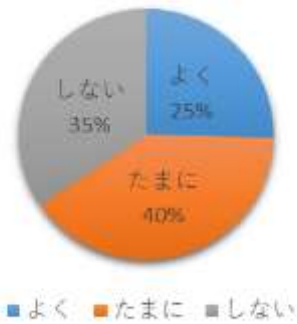


■よく ■たまに ■しない

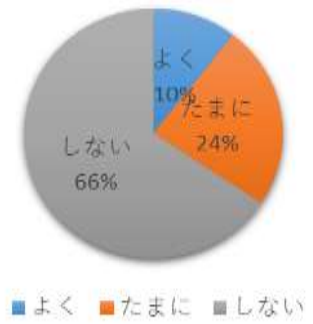
勤労青少年ホーム



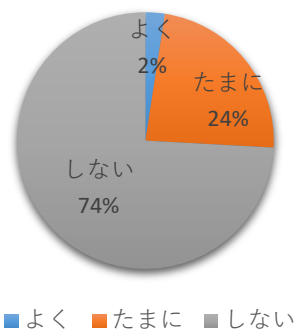
つばめの杜中央公園



牛橋公園



震災遺構中浜小学校



- 住宅地に近い施設はよく利用される傾向がある。より多くの人々の利用を促すためには、施設の整備や魅力的なプログラムの実施も検討していく必要がある。
- 「深山山麓少年の森」や「つばめの杜中央公園」などの屋外施設を利用している割合が比較的高かった。これは、コロナ禍でも、外で体を動かすことによって、健康的な日常生活を送ろうと意識している人が多いという表れであると判断される。
- 「中央公民館」「ひだまりホール」「おもだか館」を利用したことのある割合が相対的に高い。平常時には生涯学習活動等に利用されているが、非常時には避難所にも活用されるため、施設の利用経験者を増やすことは安全・安心な生活を守る視点からも重要であると考えられる。

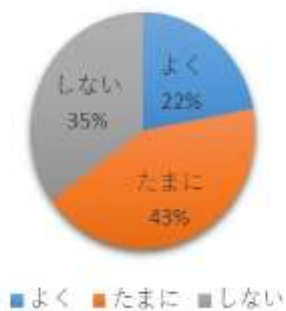
Q12 この1年の間、下記に示す社会教育施設等を利用したことがありますか。また、施設や事業などの情報を知りたいときに何から入手しますか。それぞれ、当てはまる番号に○をつけてください。

情報収集の方法

広報やまもと



生涯学習だより



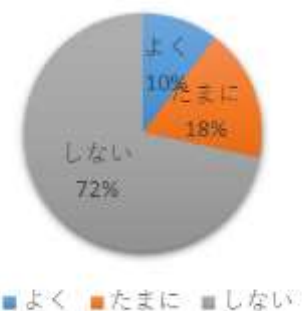
町HP



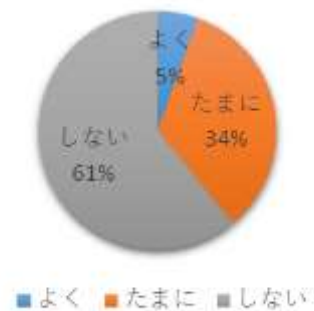
回覧板



配信メール



施設掲示物

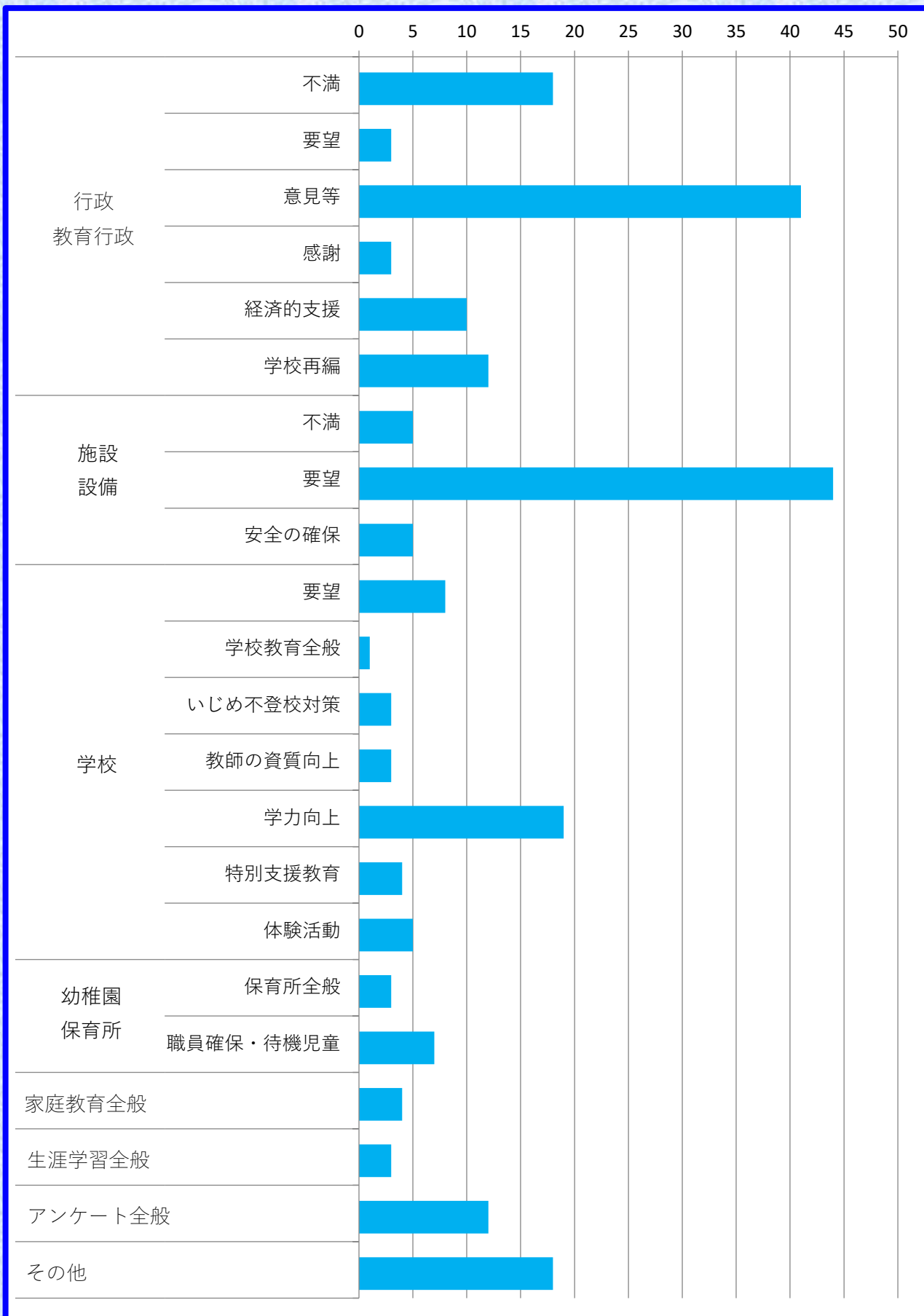


SNS



○「広報やまもと」「生涯学習だより」「回覧板」等、紙媒体での情報収集を活用する人が多い傾向が見られた。「配信メール」「SNS」については、70%を超す人が利用しないと回答していたことなどから、情報を発信するにはこれらを補助的に活用するなど、現時点では、一定の工夫や配慮等が必要であると考えられる。

Q13 これまでの山元町の教育及びこれからの山元町の教育について、ご意見があればお書きください。



アンケート調査結果を受けて

今回のアンケート調査結果を受けて、第2期山元町教育振興基本計画に生かしていくべき内容を下記にまとめる。

- 1 知育・徳育・体育バランスの良い成長を図ることが重要である。
- 2 第一に徳育を重視し、規範意識、思いやりなど豊かな心を育むことが重要である。
- 3 いじめ・不登校のない学校づくりを推進することが重要である。「よりよい人間関係を築くための豊かな社会性」を身に付けられるような取組が求められている。
- 4 変化の激しいこれからの世の中を生き抜いていくためには、自分の考えをしっかりと持つとともに他者とかかわりながら自ら行動していくことが重要である。そのために、新学習指導要領で示されている「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた取組が求められている。
- 5 幼稚園、保育所、小・中学校が連携し家庭の教育力を高めることが重要である。
- 6 学校、家庭、地域の連携・協働を図ることが重要である。学校が抱える課題に対し、学校と社会が目標を共有し、連携・協働しながら解決に当たることが必要である。山元町では、今年度から「コミュニティ・スクール」を導入し学校と社会が一体となって課題に当たる仕組みを構築してきている。ますます、取組を加速させる必要がある。
- 7 生涯学習の推進のためには、充実感や達成感を味わいながら、次の活動につなげていくことができるように多角的な視点から展開していくことが重要である。
- 8 家庭教育に関しては、多くの人の子育てのしやすさを実感できるような取組や環境づくりを整えていくことが重要である。
- 9 文化財については、地域住民の思いを尊重しながら、史跡の保存・活用を行い、祭りや行事などを伝承する活動への支援を継続していくことが大切である。
- 10 震災遺構を通して震災の教訓を後世に継承するとともに、より多くの人々の防災の意識を高めていくことが重要である。
- 11 スポーツ活動、生涯学習活動を充実させるためには、様々なニーズに応えることができるよう施設設備の充実や環境整備を行いながら、適切な啓発活動や周知方法などを通じて活動を促していくことが大切である。

今回のアンケート調査ではポイントがあまり高くないとも、山元町の教育として重要と思われる内容を下記にまとめる。

- ふるさと山元を大切に思う心の育成
- 特別支援教育の充実
- 学校施設・設備の充実
- 防災教育の充実
- 学校保健の充実
- 食育の推進
- 体験活動の重視
- 文化伝統の継承
- 保・幼・小連携、小小連携、小中連携

現在の教育の課題に対応するための内容を下記にまとめる。

〔学校教育分野〕

- 学校再編事業
- みのりプロジェクト推進事業
- 志教育の充実
- コミュニティ・スクールの推進
- 国際理解教育、外国語教育の推進
- SDGsの取組

〔生涯学習分野〕

- コロナ禍でのイベント開催のあり方等の工夫
- 合戦原遺跡出土品の国指定文化財化への取組
- 健康スポーツに関わる推進条例の策定
- 生涯学習関連施設への図書の実と利便性の向上
- SDGsの取組